

自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

学校名 海津市立下多度小学校

テーマ 「安心して互いに聴き合い、学び合い、探究する児童の育成」をするために、子供を見取る力を向上させる。

取組のポイント・成果

【目指す姿】

分かったふりをせず、「分からない」と言って尋ねることができ、「分からない」と言われたら一緒に考えることができる姿を目指す。このことで、仲間と共に主体的に探究できる姿を目指す。また、困っている仲間には「困っていることがある？」と尋ね、相手に寄り添って聴き合うことができる姿を目指し、仲間に対する信頼感や安心感をもてるようにする。

【活動内容】

(1) 校外での研修会に参加して授業改革に生かす。

- ① 5月11日（土） 東海国語教育を学ぶ会研修会 5名参加
- ② 5月31日（金） 岐阜市立ぎふ清流中学校研究会 1名参加
- ③ 7月18日（木） 岐阜市立東長良中学校研究会 2名参加
- ④ 7月30日（水） 31日（木） 東海国語教育を学ぶ会セミナー 4名参加
- ⑤ 8月3日（土） ぎふ学びの会夏季研修会 3名参加
- ⑥ 10月16日（水） 津市立敬和小学校研究会 2名参加
- ⑦ 12月8日（日） ぎふ学びの会冬季研修会 5名参加
- ⑧ 1月11日（土） 12日（日） 学びの共同体研究大会 2名参加

研修会で学んだことを校内研修でビデオカンファレンス等を通して広げた。

(2) 全教職員が授業を公開して全校研究会を実施する。

全担任が年に1回は全校研究会で提案授業を行い自分事として考えるようにした。毎月トライアルウィークを位置付け、各担任が自分の授業を公開し、子供同士も授業を見合うことができた。授業研究では、子供の姿をよく見て、どこで学びがあったかどこで変容したかを見て協議するようにした。他校からの参加も多数あった。

- ① 5月16日（木） 全校研究会 全学級公開 2年生提案授業 他校より参加者あり
講師：山田隆徳
- ② 5月30日（木） 全校研究会 全学級公開 5年生提案授業 他校より参加者あり
講師：東京大学名誉教授 佐藤学、山田隆徳、本多正明
- ③ 7月9日（火） 全校研究会 全学級公開 特別支援学級提案授業 他校より参加者あり
講師：本多正明
- ④ 8月28日（木） 模擬授業研究会 他校より参加者あり
- ⑤ 10月28日（月） 全校研究会 全学級公開 1年生提案授業
講師：山田隆徳
- ⑥ 11月18日（月） 全校研究会 全学級公開 4年生提案授業
講師：本多正明
- ⑦ 12月2日（月） 全校研究会 全学級公開 6年生提案授業 他校より参加者あり
講師：福山市立大学准教授 長澤貴、山田隆徳
- ⑧ 1月30日（木） 全校研究会 校外研修の授業からのビデオカンファレンス
講師：校長

【成果】

- 教員同士で授業について自主的に相談し合い、授業を見合い、教員同士が学び合うことができた。
- 授業改革を行ったことで、児童がつながり、大きな児童の変容（姿）が見られた。
- 児童の変容が数値にも表れてきた。児童アンケートで『「分からない」と言えて仲間と学び合うことができた』児童が、9.7%になった。
- 子供の変容が起こる要因を探り、今後の授業改革に生かしたい。そのために授業観察から、どこで学びが成立したのか、その要因やプロセスを見取ることで授業改善を進めたい。



5月30日 協議会



12月2日 協議会

今後の課題

- 子供の変容が起こる要因を探り、今後の授業改革に生かしたい。そのために授業観察から、どこで学びが成立したのか、教師の子供を見取る力を付けることで授業改善を進めたい。
- 他校の研究会に参加したり、本校の研究会に他校から参加したり、他校の実践から学ぶ機会を増やしたい。